第3回 複雑な図形を描く

今回の演習では次のことについて学ぶ。

- 曲線の描き方
- 一定のパターンで塗りつぶす
- 文字列の扱い

課題 1 (折れ線、多角形を描く) 演習のビデオ1を見て次の問いに答えよ。

- 1. ビデオ内の「多角形を描く」において linejoin を変えて、正 5 角形などを描き、その差に ついて考察しなさい。キャプチャした図をつけること。図形は変えてもよい。図形が同じで あればソースは不要である。
- 2. 一つの<path>要素で2つの長方形を描きなさい。2つの長方形を別の要素を用いて描く時との違いを考察しなさい。考察の部分はこの下の欄に書きなさい。
- 3. 穴が開いた正方形を描きなさい。実際に穴が開いていることを示すようなアイデアを付ければなおよい。
- 4. <path>要素の属性 d で M と m、L と 1 の違いを例を挙げて説明しなさい。ソースコードと画面のキャプチャをつけること。
- 5. Bézier 曲線で図形を描きなさい。

課題 2 (パターンを使う) 演習のビデオ 2 を見て次の問いに答えよ。

- 1. 今までに作成した図形などをパターンを用いたものに書き直しなさい。ない場合には新規に 作成すること
- 2. 前間で作成したパターンを用いた場合と使用しないで同じ図形を描いたときのコードの長さ、変更の手間などを比較し、考察を付けなさい
- 3. パターンの構成要素にアニメーションをつけて見え方の変化を報告しなさい。錯視図形であるともっと良い。思いつかない場合には、ビデオ内のモーガンのねじれのひもに別のアニメーションをつけてもよい。

課題 3 (パターンを使う(2)) 余力問題

- 1. 長方形以外の図形をパターンを用いて塗りつぶしたものを錯視しなさい
- 2. 配布資料を参考にして、図形を傾いたパターンで塗りつぶしなさい。なた、傾きの角度にアニメーションがつけられるか調べなさい。

課題 4 (文字列の扱い) 演習のビデオ 2 を見て次の問いに答えよ。

- 1. 自分の名前を表示する。次に、それを姓と名前の部分に分け、移動したり、色を変えたアニメーションをつける。
- 2. 適当な道のりに沿って自分の名前が移動するアニメーションを作成する。
- 3. 文字列表示の属性の text-anchor や dominant-baseline の違いを例とともに報告する。

情報メディア専門ユニット I(演習) 第3回(5/9) ノートの内容

今回の内容は少し多くなっている。いくつかの課題の内容をまとめたものを作成してもよい。

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり
課題 1 (35%)	□linejoin の違いについてキャプチャした図があり、十分な考察がある。 □一つのpath 要素で2つの長方形を描くことに関して、キャプチャした図とリストがあり、十分な考察がある。 □穴が開いた正方形を描くソースコードとキャがあり、十分な考察がある。 □穴が開いていることを示す十分な証拠を画面の動きと考察がある。 □path 要素の属性 d で M と [m]、L と 1 の違いて、十分な考察がある。 □path 要素の属性 d で M を挙げて説明していて、十分な考察がある。 □Bézier 曲線で描かれた独自の図形のキャプチャ客等も十分にある。	□linejoin の違いについて キャプチャした図があるが、 考察が十分ではない □一つのpath 要素で2つの 長方形を描くことで関リストがあるが、考察が十分では ない。 □穴が開いた正方形を描く ソースもあるが、考察が十分ではない。 □穴が開いた正方形を描チャ分ではない。 □穴が開いている画のソースカードと考察の属性 d で M と [m]、L と 1 のでいる。 □path 要素の属性 d でを例、 案が十分ではないる。 □Bézier 曲線で描かれた独自の図形のキャプチャと考察が 十分ではない。	□linejoin の違いについて キャプチャした図がないか、 考察がほとんどない。 □一ののpath 要素で2つの 長方形を描くこと図、リストのいずれかがない。考察が不十分であるかない。 □穴が開いた正方形を描く ソースドのいずれかがない。考察が不十分である。 □穴が開いたとキャのいずれかがない。オー分である。 □穴が開いたいることを示す十分な証拠を画のリースカードとおがない。 □path 要素の属性 d で M と [m]、L と 1 のでいがない。 □path 要素の属性 d で M と [m]、L と 1 のでいがない。 □path 要素の属性 d でがずれかまたは両方がない。 □path 要素の属性 d でがずれかまたはである。 □の図形のキャプチャ条が不十分である。
課題 2 (25%)	□独自のパターンを利用した 図形とソースコードがあり、 考察も十分である。 □同じ図形でパターンを利用 しなかった場合のコードが あり、コードの長さ、考察 が十分にある。 □パターンの構成要素にアニ メーションをつけた図が3 枚以上あり、ソースコード と十分な考察がある。	□パターンを利用した図形があり、ソースコードもあるが、考察も少し足りない。 □同じ図形でパターンを利用しなかった場合のコードがない。コードの長さ、変更の手間などを比較し、考察が十分にない。 □パターンの構成要素にアニメーションをつけた図が2枚以下である。ソースコードと十分な考察のいずれかがない。	□パターンを利用した図形があるが、ソースコードがない。考察が不十分である。 □同じ図形でパターンを利用しなかった場合のコードがない。コードの長さ、考察がない。 □パターンの構成要素にアニメーションをつけた図が1枚以下である。ソースコードと考察がない。

次のページに続きがあります

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり
課題 2余 力問 題 (25%)	□長方形以外の図形をパター ンを用いて塗りつぶした図 形とソースコードがあり、 考察も十分である。	□長方形以外の図形をパター ンを用いて塗りつぶした図 形とソースコードがあり、 考察が少し足りない。	□長方形以外の図形をパター ンを用いて塗りつぶした図 形とソースコードがない。 考察が足りない。
	□傾いたパターンを用いて 塗りつぶした図形とソース コードがあり、考察も十分 である。	□傾いたパターンを用いて 塗りつぶした図形とソース コードがあり、考察が少し 足りない。	□傾いたパターンを用いて 塗りつぶした図形とソース コードがない。考察が足り ない。
	□傾いたパターンにアニメーションを付けたもので塗り つぶした図形とソースコードがあり、考察も十分である。または、できないことの十分な説明がある。	□傾いたパターンにアニメーションを付けたもので塗り つぶした図形とソースコードがあり、考察が少し足りない。または、できないことの説明が少し足りないある。	□傾いたパターンにアニメーションを付けたもので塗りつぶした図形とソースコードがあり、考察が足りない。または、できないことの説明が足りないある。
課題 3 (25%)	□自分の名前を表示している。 それを姓と名前の部分に分け、移動したり、色を変えたアニメーションをつけどといる。図とソースコードと十分な考察もある。 □適当前が移動するアニメードと十分な考察がある。 □文字列表示の図とソースコードと十分な考察がある。 □文字列表示の属性のが分かるような図がソースコードとかが分かるコードとな考察がある。	□自分の名前を表示している。 それを姓と名前の部分に分け、移動したり、色を変えたアニメーションをつけど考察のいずれかがないか不十分である。 □適当が移動するアニュードと考察のいずれかが不十分である。 □文字のとソースコードと考察のいずれかが不十分である。 □文字列表示の図とソードと考察のいずれかが不十分である。 □文字列表示の属性やのが図をみてもったいが図をみてもコードがはいる。ソースコード分である。	□自分の名前を表示していない。それを姓と名前の部分に分け、移動したり、色を変えたアニメーションがと考察のいずれかがない。 □適名前が移動するアニメードと考察のいずれかがない。 □文字列表示の図とソースコードと考察のいずれかがない。 □文字列表示の属性のtext-anchorの高いが図をみてもわからない。ソースコードや考察がない。

情報メディア専門ユニット I(演習) 第3回(5/9) プレゼンテーション

この回の予習に基づいてグループ内で議論したことや工夫した点について報告する。

グループメンバー学籍番号

評価	優れている		改良の余地あり
項目 発表 技法 (20%)	□はっきりと丁寧に説明していた。 □発表の際に聴衆の反応を確かめていた。 □間の取り方がよかった。	□説明が途切れることが 2, 3 か所あった。 □声が少し大きすぎたり小さすぎた。 □発表の際に聴衆の方をあまり見ていないか反応を確かめていなかった。 □決められた発表時間を少し外れた。 □機材の設定や準備に少し時間がかかった。	□声が小さすぎて聞き取れなかった。 □聴衆のほうを全く見ない、反応を無視して行った。 □間がない発表であった。 □発表時間が極端に短い、または長すぎた。 □手元の資料やPC画面を見て発表していた。 □機材の取り扱いや発表の準備がほとんどできていなかった。
発表 構成 (30%)	□初めに発表内容に関する概要があった。 □発表内容の順序に必然性があった □各構成の部分のバランスが良かった。 □図や表を使い簡潔にまとめられていた。 □引用は適切である。	□文字だけの発表で、概略が少しつかみづらかった。 □図の内容が少し見づらかった。 □項目の内容の分量にばらっきが少しあった。 □スライドごとに情報の詳しさが一部異なりすぎていた。 □ページの分量が発表時間に対して少し足りない、または多すぎた。	□ほとんどのスライドで情報 量が少なかった。 □一つのスライドに文字を詰めすぎていた。 □図が大きすぎたまたは小さすぎた。 □スライドごとに情報の詳しさが異なりすぎていた。 □スライドの内容が情報ごとにまとまっていなかった。
発表 内容 (50%)	□内容は適切であった。 □図の使い方がよかった。 □図の使い方がよかった。 □SVGファイルのデモが適切であった。 □内容が自分の言葉で述べられていた。 □それぞれの項目の関連性とバランスがよかった。 □発表したいことが十分に説明されていた。 □自分の意見が明確であった。	□内容のごく一部に説明不足なところがあった。 □図が少なくて説明が少しわかりずらかった。 □SVGファイルのデモの内容が少し足りなかった。 □内容に関して他からの引用が少し多かった。 □それぞれの項目の関連性に少し不十分なところがあった。 □発表内容の必要性の説明が少し足りなかった。	□内容が少なすぎる。 □図を使用していないのでわかりずらい。 □SVGファイルのデモの全くなかったか足りなかった。 □スライドの記述と発言内容に差がありすぎる。 □内容が多すぎて散漫である。 □内容が引用ばかりで自分でまとめた形跡がなかった。 □内容の説明が不十分であった。